

## 令和3年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市立信太山青少年野外活動センター
施設所管課・担当	こども青少年局企画部青少年課（電話: 06-6208-8157）
条例上の設置目的	野外活動の場を提供することにより健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	(1) 青少年の野外活動のための施設を提供すること (2) 青少年の野外活動に関する相談及び指導 (3) 青少年の野外活動の機会の提供 (4) 青少年の野外活動に関する指導者の育成 (5) その他市長が必要と認める事業
成果指標	年間利用者数（全体）／宿泊室稼働率（青少年の家）
数値目標	74,400人／73.0%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市青少年活動協会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間利用者数 （全体）	宿泊室稼働率 （青少年の家）
数値目標	74,400人以上	73.0%
年度実績	33,245人	41.6%
達成率	44.7%	57.0%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数（全体）	33,245人	26,168人	7,077人
宿泊室稼働率（青少年の家）	41.6%	28.6%	13.0%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	61,139,845	61,213,252	0	
	計画	61,139,845	61,213,252		
利用料金収入	実績	9,974,290	7,759,170	-15,745,810	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の臨時休館や施設利用人数の制限等による施設利用者数の減
	計画	25,720,100	25,303,300		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	26,466,667	20,438,387	-16,863,354	・利用料金収入に同じ （なお、当年度実績には、大阪市からの補填額5,291,360円を含む。）
	計画	43,330,021	42,231,139		
合計	実績	97,580,802	89,410,809	-32,609,164	
	計画	130,189,966	128,747,691		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	50,452,954	51,122,368	-6,223,846	・マルチスタッフ化、変形労働時間制導入等による人件費の減
	計画	56,676,800	56,676,800		
物件費	実績	31,115,795	27,379,010	-3,294,885	・施設利用人数の減に伴う光熱水費の減等
	計画	34,410,680	33,849,680		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	16,083,035	10,986,811	-23,019,451	・施設利用人数の減に伴う給食提供の減、プログラム物品提供の減等
	計画	39,102,486	38,221,211		
合計	実績	97,651,784	89,488,189	-32,538,182	
	計画	130,189,966	128,747,691		

### 令和3年度 指定管理者年度評価シート

#### 4 管理運営状況の評価（1次評価）

##### (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間利用者数	44.7%	-	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、評価を「-」とした。
宿泊室稼働率(青少年の家)	57.0%	-	同上

##### (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p><b>【人件費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員のマルチスタッフ化や変形労働時間制の導入による効率的な人員配置等を行った。</li> </ul> <p><b>【物件費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種設備の維持点検や保全業務について、入札又は見積合わせにより、適正な業務水準を確保するとともに、最も安価な事業者を選定した。</li> <li>・光熱水費について、定量的に監視し、過年度の利用状況を踏まえた分析を行い、使用量の適正化を図り、コストの削減を図った。</li> </ul>	B	

##### (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、緊急事態宣言期間中など一部休止した事業もあったが、おおむね計画どおりに実施できた。</li> <li>・新たに養蜂事業を開始し、体験講座では好評を得るなど、昨年度からの焚火ナイトに加え、プログラムの充実をすすめている。</li> <li>・BBQピレッジで自然素材を使ったクラフトワークショップや木登り体験等のイベントを実施した。</li> <li>・フィールドアスレチックを増設した。</li> <li>・学校園下見説明会を実施した。</li> <li>・学校園団体向けに火おこしやビザづくりなどの信太山ならではの体験活動を、スポーツ団体には給食増量メニューや新たな補食を提供するなどニーズに応じたサービスを提供している。</li> </ul>
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

#### 5 利用者ニーズ・満足度等

<p><b>【利用者アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ対応：満足 94%、普通 6%</li> <li>・施設利用：満足 87%、普通 13%</li> <li>・その他、感想・意見</li> </ul> <p>「自然環境に恵まれていて良かった。手入れも行き届いている。」、「スタッフの対応が非常に親切で全プログラムを安心して行うことができた。」「コロナ禍でできないことが多い中、貴重な経験ができた。」など、肯定的な意見が多かった。</p>
--

## 令和3年度 指定管理者年度評価シート

## 6 外部専門家意見

・施設において、新型コロナウイルス感染症防止対策がしっかり講じられていることは評価できる。

・学校向けの新たなプログラム提供や養蜂事業の体験講座、オフシーズンのたき火イベントなどコロナ禍であっても工夫がみられる。

・職員の適正な勤務管理や労働環境を整えることが利用者の安全につながるので、今後ともその点を踏まえた施設運営に努められたい。

・夏のキャンプ場利用は熱中症の危険度がかなり高く、安心して利用できるよう涼める場所の確保などさらなる暑さ対策を講じられたい。

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、適切な評価ができないと判断した。
市費の縮減	B	コロナの影響による施設利用者数の減に伴い、職員のマルチスタッフ化を進めるなど効率的な人員配置を行うなど、施設運営全般にわたり常にコスト意識を持って経費縮減に努めている。
管理運営の履行状況	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、緊急事態宣言期間中など一部休止した事業もあったが、おおむね計画どおりに実施できた。</li> <li>・新たに養蜂事業を開始し、体験講座では好評を得るなど、昨年度からの焚火ナイトに加え、プログラムの充実をすすめている。</li> <li>・学校園団体向けに火おこしやピザづくりなどの信太山ならではの体験活動を、スポーツ団体には給食増量メニューや新たな補食を提供するなどニーズに応じたサービスを提供している。</li> </ul>
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	